

体験版
12頁抜粋しています

ピンヒロ謎解き本

緑の巫女と
妖魔から里を守れ

ざこきやら堂





あなたは、全力で走った

妖獣が里の人を襲っている！
そばには娘もいた

「し、神官様！」

「ここは、結界があるはずなのに」

あなたは、妖獣に魔弾を撃つ

手ごわい部類だが、なんとか倒した

気になるのは里人の怪我だ

「神官様……」

あなたは治療魔術に専念した

「え！？ そんな！！」

別の方向から、妖獣が現れる

もう一匹いたのだ

治療魔術をとめると、里の者は死んでしまう

だからといって、治療魔術を続けて
自分が殺されても、里の者の運命は変わらない

.....

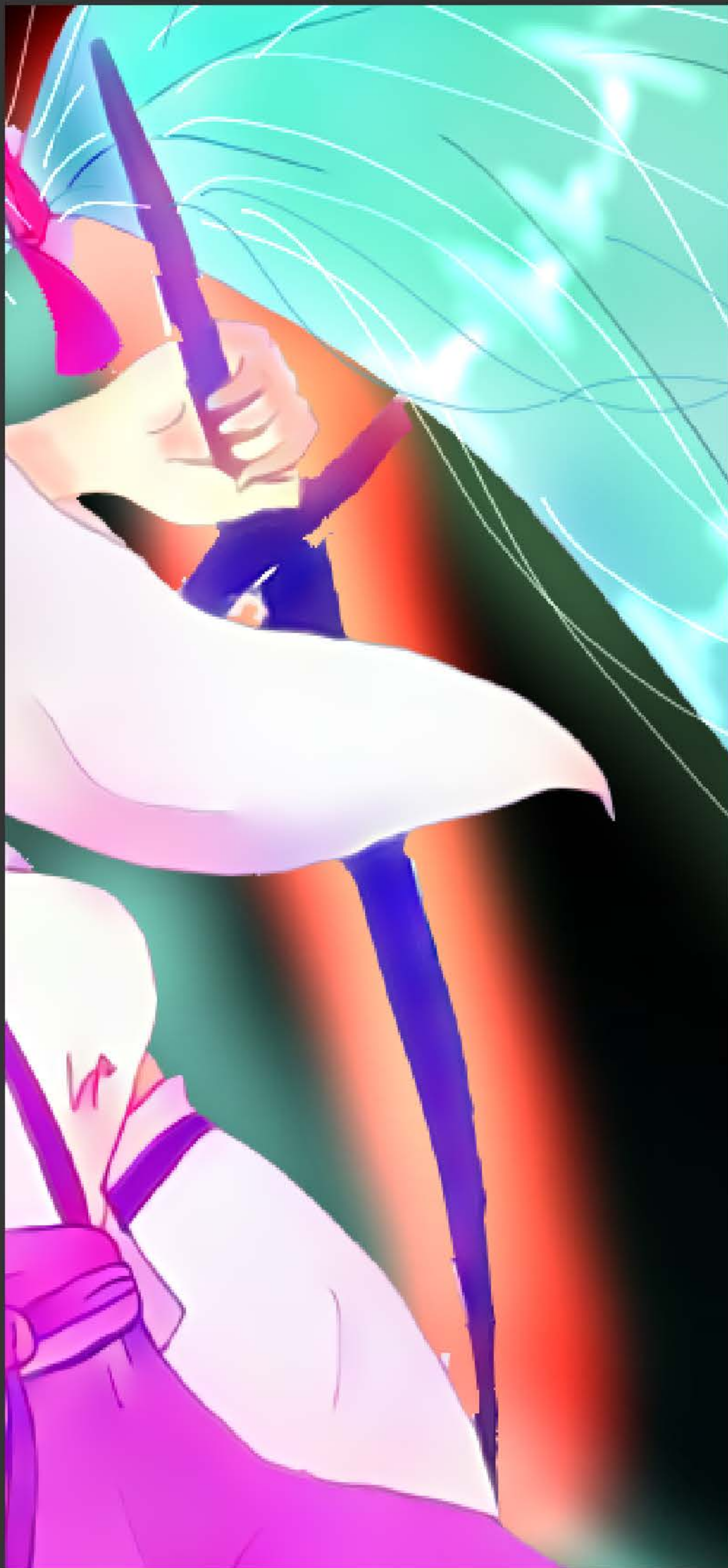
一度の攻撃なら、
耐えきれるかもしれない！

あなたは、治療魔術を続行し、娘に逃げるように叫ぶ

「…っ……あ！」

そして

血しぶきが舞う



血しぶきは
妖魔の血だった

「仕留めきれませんでしたか」

「もう少し頭を下げてください、神官
殿」

あなたは、里人を抱えて、
身を低くする

強く清らかな霊力を感じる



GYAA

AAAA

AA!!!

巫女は武器らしい武器はもっていない

なぜなら、その場で、霊力から作り出せるから



ほんの数振りで
妖魔は完全に消え去った



あなたは、巫女の強さに驚いた
神殿の精鋭達と遜色ない

「わたくしへの感謝と賛美とお礼代
は結構です。今は」

いつも、お金をもらっているのだろ
うか

「言いたいことは、わかります」

「わたくしのように美しく強い巫女
が、なぜ、このようなド田舎のへき
地にいるのか。それは気高き使命の
ためです」

「ド田舎って言ったぞ」
「あの性格がなあ…」
「いや、あれがいいんだよ」

助けに来た里人たちが
ざわついている



「巫女様、神官様……ありがとう」

「べ、別にあなたのために助けたわけじゃないですからね、っん」

里の人々も次々に感謝される

「神官殿……あなた、死んでおりましたよ、マジで」

巫女が深く溜息をつく

「里の者を守ってください、心より感謝を」

「宿を用意してあります。場所は、こちらの隣です」

「どうぞ、お休みください」

宿に行く目印は……

問題 宿の近くには

	L	②		⑤
--	---	---	--	---

		R		
--	--	---	--	--

①		W		⑥
---	--	---	--	---

	④	H		
--	---	---	--	--

③ ⑦		C		
--------	--	---	--	--

Z

こたえ

--	--	--	--



巫女は、妖魔の触手にとらえられている

里の男達は、うつろな目で立っている

女たちは、倒れていた
生きているだろうか

「神官様……いま、出て行っちゃいけない……」

肩にふれる小さな手が、あなたを止める

「巫女様が、いそいで、神官様のところに行けって」

眼が赤くはれている。泣いていたのだろう。

「そのまま、里の中央に……皆、おかしくなっているのに……」



あの夢は、おそらく巫女が
見せたのだ

自分と半魔の娘に

あなたと娘だけが、妖魔の
術にかかっていないらしい

「……………巫女様が疑われてい
たのは」

「全部、あたしのせいだった
んだね……」

「うぐっ！！」

にぶい音がした

「！！あっ」
娘の口をとっさにふさぐ

巫女が里の者に殴られたのだ



一人の男が、巫女の口
に舌をいれる

そのまま、舌は首、鎖骨、
胸、乳首までおりてい
く

「……っ……」

かしこい巫女は好きで
すよ

さあ、巫女様の中から、
悪霊を叩き出すのです

ああ、わかった

いまお助けします……

巫女様……



「ああっ！」

里の男が、巫女を殴る

顔を腹を背中を腕を
足を

同時に触手は巫女の
蜜部をもてあそぶ

なぐられては長い髪
が波打つ

それでも巫女の思念
は、あなたに……